

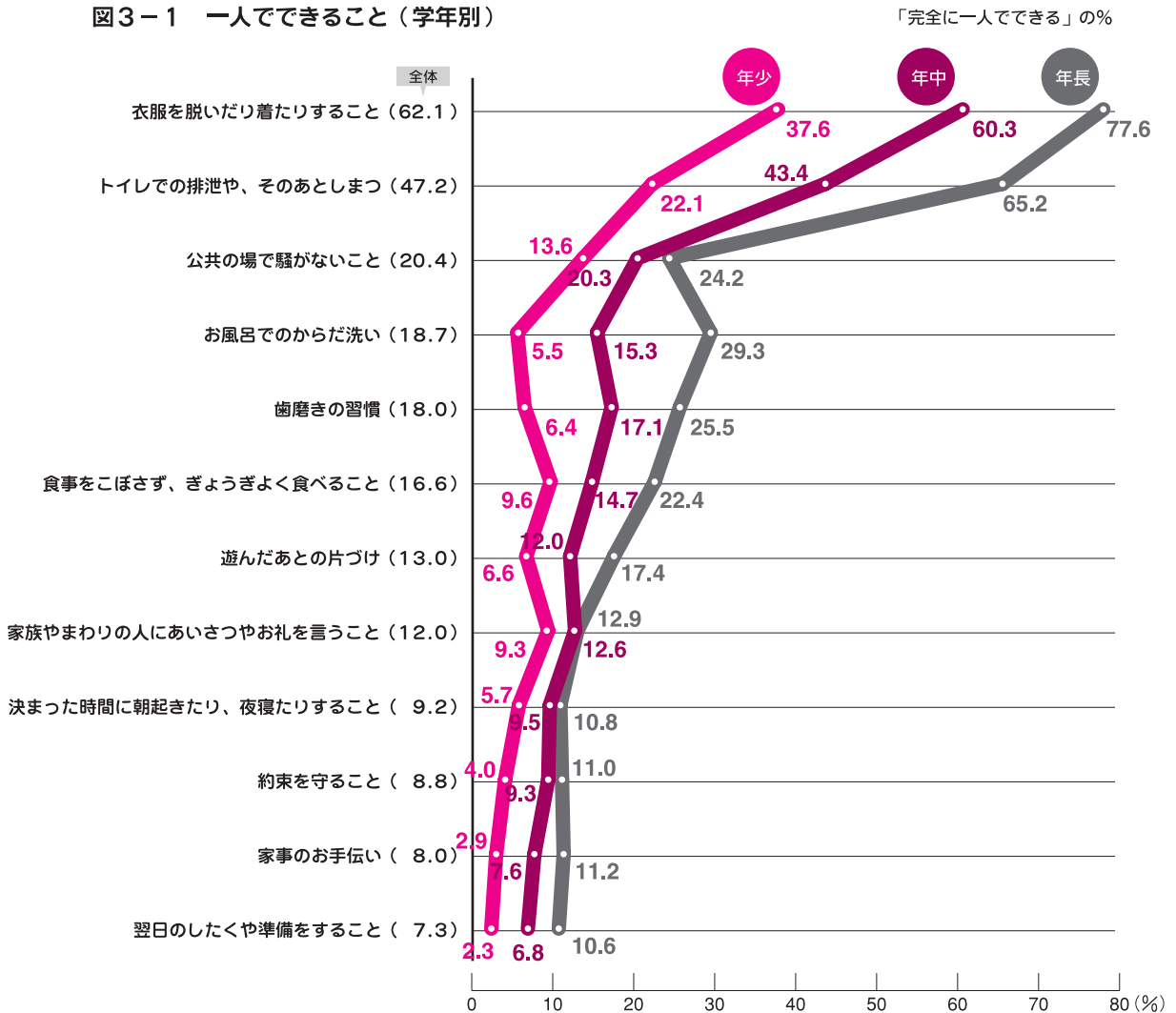
# 3日ごろの生活習慣

## 1 発達とともに自立度は上昇する

発達とともに自立度は高まるが、「公共の場で騒がない」「あいさつやお礼を言う」など、年長になっても一人でできる割合が高まらない項目もある。

Q お子様は、次のようなことを自分一人できますか。

図3-1 一人でできること（学年別）



「衣服を脱いだり着たりする」「トイレでの排泄や、そのあとしまつ」「お風呂でのからだ洗い」など、発達にしたがって「一人でできる」割合が急速に高まる項目がある。しかし、その一方で、「公共の場で騒がない」「あいさつやお礼を言う」

「決まった時間に朝起きたり、夜寝たりする」など、学年が上がっても「一人でできる」割合が伸びない項目もある。これらは、幼児にとって苦手な課題であるといえる。

# 2

## 第1子に対する保護者の要求は高い

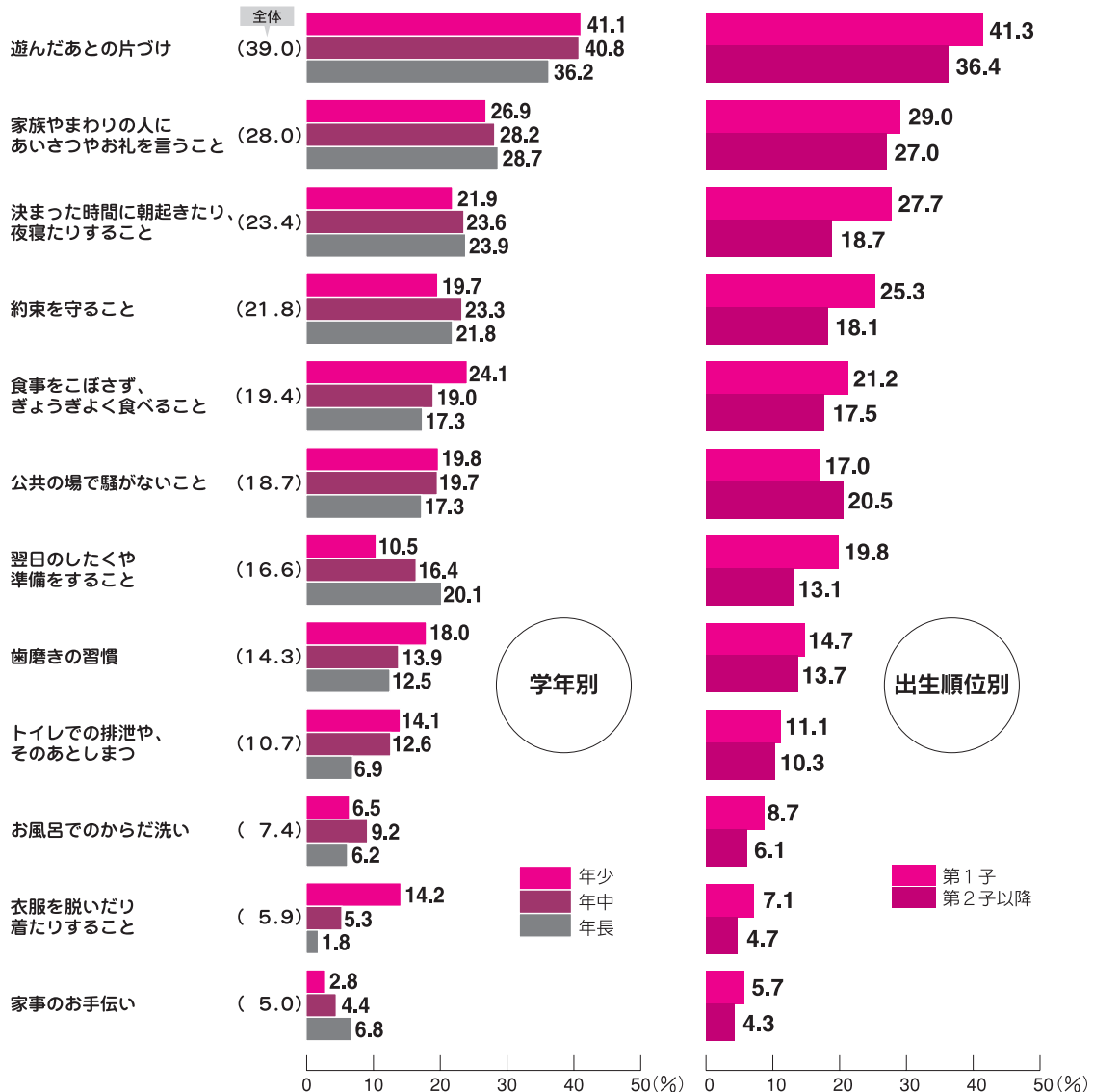
「一人でやってほしい」割合は学年とともに低下する項目が多いが、「翌日のしたくや準備」などは逆に要求が高まる。出生順位別では、第1子への要求が総じて高い。



「もう少し自分でやってほしい」と思うことはありますか。

図3-2 もう少し自分でやってほしいこと（学年別、出生順位別）

複数回答、12項目の中から選択



子どもの発達にしたがって、「遊んだあとの片づけ」「ぎょうぎよい食事」「歯磨きの習慣」「排泄」「衣服の着脱」などは、「もう少し自分でやってほしい」と思う割合が低下する。しかし、「翌日のしたくや準備」「家事のお手伝い」など、学

年とともに要求が高まる項目もある。出生順位別にみると、総じて「第1子」の保護者のほうが「もう少し自分でやってほしい」と願う項目が多く、要求水準が高いことがわかる。